

スクールリーダーシップ開発専攻

基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B1001	教育デザイン論		1	1・2	春AB 春C	随時 応談		タスタンベコワ クアニシ、樋口 直宏	教育にかかわる共通的な課題を研究科全体で共有し、広い視野にたった教育のエキスパートを育成しようとする。そのために、海外での動向も踏まえた教育的な課題を講義するとともに、院生同士での、コースや専攻をこえたディスカッションをし、課題の理解を深めていく。	1年次必修。担当教員は科目責任者を指す。詳細後日周知

専攻共通科目(必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2001	学校教育論		4	2.0	1・2	秋AB		藤井 穂高	学校教育の基本問題を取り上げ、「制度」の視点から検討する。	協調学習の授業形態をとっているため、受講の選択の際には参加型の授業であることに注意すること
01B2021	学校心理学		1	2.0	1・2	春AB	水1,2	8B210 飯田 順子	授業の目標は、次の4つである。 1学校心理学の基礎概念について理解する。 2学校心理学が扱う領域に含まれる様々なトピックについて理解を深める(不登校、発達障害など)。 3学校心理学のなかで行われている最新の研究について学ぶ。 4心理教育的援助サービスの技法(アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション)を学ぶ。 子どもが出会う問題状況の解決や成長の促進を目指す援助サービスの理論と実践を支える学問体系である学校心理学について、その理論や心理教育的援助サービスの実際について講義で学ぶと同時に、学校心理学の中心概念である「援助サービス」についてロールプレー等を交えて実践力を高める。	OATAB02、OATB132と同一。
01B2031	スクールリーダーシップ論		4	2.0	1・2	春AB		濱田 博文	小・中・高等学校・特別支援学校等を組織として捉えることの意味を理解し、学校組織の特徴を踏まえた有効なリーダーシップのあり方について理論的・実践的な知見を獲得することを目標とする。具体的には、現代の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における学校経営の課題を学ぶとともに、最近の研究成果に基づいて、学校組織の特性を踏まえたリーダーシップのあり方について考察する。学校を「組織」として捉える意義と、組織としての学校の特性・独自性を確かめ、実践事例を検討することを通じて、学校経営の改善を推進するために有効なリーダーシップの条件について考えたい。	

専攻共通科目(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01B2101	公教育の歴史		4	2.0	1・2				近現代を中心とする日本教育史に関する文献や資料を検討し、公教育の現在に対する議論の視点と思考の枠組を探究する。発表・討議形式で行う。	定員は15名。 2020年度開講せず。	
01B2131	学校の組織論		4	2.0	1・2				学校という組織の経営行動の中で、マーケティングに焦点を当て、学校におけるマーケティングの事例の検討や、学校におけるマーケティングに対する理論の批判的な検討を通じて、学校におけるマーケティングとは何かについて考える。経営学分野におけるマーケティングの理論を、学校にどのように応用することができるか(できないか)、受講者の発表と討論を通じて検討する。	2020年度以降未定 2020年度開講せず。	
01B2181	国際教育論		4	2.0	1・2				この授業では国際理解教育、持続可能な開発のための教育(ESD)、地球市民教育(GCED)、持続可能な開発目標ゴール4の関連についてユネスコの文献と先行研究を手掛かりに検討し、ユネスコの近年の教育政策の動向を検討する。	2020年度開講せず。	
01B2191	多文化教育論		4	2.0	1・2	秋AB		随時 応談	タスタンベコワ クアニシ	多文化教育に関わる文献を講読し、討論を行う。	
01B2201	生涯学習論		4	2.0	1・2	春AB		随時 応談	上田 孝典	生涯学習・社会教育学分野の文献を講読し、原理や歴史について理解するとともに、最新の研究成果について検討をおこなう。受講者の発表を中心とした授業をおこなう。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2211	道徳と人権	4	2.0	1・2	秋AB	応談		吉田 武男, 田中 マリア	道徳教育の現代的課題について、人権教育とのかかわりにおいて学習し、日本の道徳教育のあるべき姿について考察する。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学学生のみに。
01B2223	現代子ども・若者論	2	2.0	1・2					(1)各種「子ども論」「若者論・青年論」をもとに、「子どもなるもの」「若者・青年なるもの」が社会でどのように捉えられ、位置づけられてきたか、また、捉えられ、位置づけられているかを考察する。 (2)調査データや関連資料をもとに、子ども・若者たちが、実際にどのような状況に置かれ、どのような特性をもつに至っているかを明らかにする。もって、子ども・若者の現状を踏まえた中等教育段階に学校経営や生徒指導の在り方について考察する。 (1)と(2)のどちらに重点を置くかは、履修者の問題関心を踏まえて決定する。	2020年度以降未定 2020年度開講せず。
01B2231	児童の発達	2	2.0	1・2					わが国の子どもたちが抱える発達上の問題を取り上げ、発達心理学の視点から検討を加える。今年度はおもに「学習意欲」の問題について取り上げる。	2020年度開講せず。 詳細後日周知
01B2242	青年の発達	1	2.0	1・2	秋AB	火1,2	8B204	佐藤 有耕	授業の目標は、次の3つと発展的な目標になる。 1青年、青年期、青年心理学についての理解を深めること 2青年心理学の研究パラダイムについて理解すること 3青年の発達を理解するための多様な観点を身に付けること 発展的には、青年の発達に関する学習を通して、青年に対する理解と支援の水準を上昇させること。 このために、青年心理学に関する重要な文献を教材として、青年の発達に関する知見を深める。少人数で実施し、発表や討論などを活発に行う学生参加型の授業とする。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学学生のみに。 OATAB04と同一。
01B2251	学校神経心理	1	2.0	1・2					生徒・児童の認知・行動・情動・社会性の発達やその問題・障害を理解するうえで有用な、心理学的・脳科学(教育神経科学)的な知見や考え方を学ぶ。	2020年度開講せず。 詳細後日周知
01B2262	心理教育的アセスメント	3	2.0	1・2	夏季休業中	集中			心理教育的援助におけるアセスメントでは、「理解する、対策を立てる、対処する」というプロセスをくりかえしながら、よりよい援助の方向性をたえず模索していく過程が重要な位置を占める。この授業では、面接、主だった心理テスト等を通して、対象者自身および対象者と面接者の関係、さらには対象者の関わる環境を視野に入れたアセスメントの方法について検討する。 前半では、心理教育的アセスメントとは何かの概要を述べる。その後、主だった心理テスト(知能テスト、性格テストを中心に)を通してのアセスメントの方法、及び報告書作成とその際の注意事項を議論し学習する。その後、面接を通してのアセスメントの方法を学ぶ。実際に視聴覚教材を用いて、あるカウンセリング面接のクライエントを変化をアセスメントする。	西暦偶数年開講 西暦偶数年年度開講。 OATAB08と同一。
01B2271	スクールカウンセリング実習I	6	2.0	1・2	春A 春B 秋C	応談		庄司 一子	カウンセリングの理論と技術について学習の後、カウンセリングの技術の向上を目的としたカウンセリング実習を行う。またこの実習には、個人を対象としたまたは集団による事例検討会も含まれている。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学学生のみに。
01B2291	学校の社会学	4	2.0	1・2	春AB	応談		徳永 智子	社会的カテゴリーの視点(階層、エスニシティ、ジェンダーなど)から国内外の教育政策・実践の可能性と課題について考察し、公正でインクルーシブな学校教育のあり方について議論を深めることを目的とする。毎回、受講生が文献に基づく報告をし、全員で討論する。	
01B2301	地域教育支援論	4	2.0	1・2	夏季休業中	集中			小学校を取り巻く地域社会の教育資源(社会教育施設、教育支援NPO、住民自治組織等)を理解し、地域と連携した教育実践にかかわる課題について検討する。 授業では、地域社会と連携・協力した教育事業(クラブ活動、自然体験活動、職業体験活動等)を実施している茨城県内外の小学校等の協力を得て、参与観察、インタビューなどフィールドワークの手法により地域社会の教育支援の在り方について理解することをめざす。	2020年度以降未定

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2311	スクールカウンセリング実習II	0	2.0	1・2	通年	随時		庄司 一子	本実習は、実際の学校教育現場での児童生徒への援助の実習を行う。さらにカンファレンスでの事例報告、集団討議を通して援助の技術を高めることを目的とする。	「スクールカウンセリング実習I」の単位取得者に限る。また、外部での実習参加が履修条件となる。小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。詳細後日周知
01B2350	初等国語特論A	1	1.0	1・2	春A	集中		矢澤 真人, 稀代 麻也子	小学校国語科での授業に必要な国語に関する基礎的な事項を確認したうえで、応用的な知見や技能を身につけることを目標とする。具体的には、小学校での国語科の授業に必要な国語に関する知識・技能の向上をねらう。特に伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について、漢文学や国語学を中心に扱う。	OATAM01と同一。
01B2351	初等国語特論B	1	1.0	1・2					小学校国語科での授業に必要な国語に関する基礎的な事項を確認したうえで、応用的な知見や技能を身につけることを目標とする。具体的には、小学校での国語科の授業に必要な国語に関する知識・技能の向上をねらう。特に伝統的な言語文化について国文学を中心に扱う。また、話すこと・聞くこと・読むこと・書くことなどの国語に関する技能についてもトレーニングしていく。なお、いずれの時間も小学校での実践的な指導や教材化に関する討議を含む。	西暦偶数年度開講。OATAM02と同一。2020年度開講せず。
01B2352	初等社会特論	4	1.5	1・2	夏季休業中	応談		井田 仁康, 唐木 清志, 國分 麻里	本授業では、初等社会科教育課程を構成する「地域学習」(3・4年)「産業学習」(5年)「国土学習」(5年)「歴史学習」(6年)「政治学習」(6年)「国際学習」(6年)について、地理学・歴史学・社会諸科学(公民)の各学問領域の立場から、社会科の教材開発に必要な専門的知識及び技能を身に付けてもらう。	
01B2353	初等数学基礎	1	1.0	1・2	春季休業中	集中		蒔苗 直道	算数の背景にある数学の基礎的概念や、学問としての数学の知識や技能、数学的な論理の展開の方法を基に、算数についての理解を深めることを目標とする。 具体的には、テキスト(新編 算数科教育研究)を輪読する。この過程で、基礎的概念を学び、問題演習、発表、数学に関する討議を行う。	西暦偶数年度開講。OATAM04と同一。
01B2358	初等体育特論A	1	1.0	1・2	秋AB	応談		宮崎 明世	小学校段階の身体的な発育の特徴と身体活動の重要性を、講義を通して理解し、基礎的・発展的な「動きづくり」について検討する。また、認知的・精神的な発達の特徴を理解し、小学校体育で求められる運動に関する理解について検討する。社会的な発達と特徴について理解し、体育における仲間作りと態度形成、言語活動とコミュニケーションについて検討する。専門的な知識とともに、具体的な学習内容や指導方法について考える力を身に付ける。	小学校1種免許を取得している初等専修免許取得希望者に限る。
01B2359	初等体育特論B	1	1.0	1・2	秋C	応談		宮崎 明世	さまざまな運動領域について、その特性や内容を、講義を通して学習する。また、それぞれの運動領域の特性に応じた指導法について検討する。子どもの運動を観察することを通じて運動を評価し、指導法を改善することを学ぶ。「初等体育特論A」と合わせて履修すること。	小学校1種免許を取得している初等専修免許取得希望者に限る。
01B2360	初等図画工作特論	1	1.0	1・2	春C	火3,4		石崎 和宏	小学校学習指導要領の「図画工作」における目標と内容の理論的背景を検討しつつ、指導実践に向けた学習理論について理解することを目標とする。そのために、本授業では、小学校学習指導要領の目標と内容、ならびに学習理論について、表現領域と鑑賞領域ごとに子どもの発達をふまえて複眼的に検討を行う。具体的には、描画表現と鑑賞活動における子どもの発達理論、造形表現と鑑賞を支援する学習方略、造形表現と鑑賞を支援するツールの開発、表現と鑑賞をつなぐ図画工作の授業構想について議論する。	OATAM07と同一。
01B2361	初等理科特論	1	1.0	1・2	通年	応談	8B409	片平 克弘	小学校理科に関する基礎的・基本的内容を学習し、科学的な知識や概念を習得する。	小学校1種免許を取得している初等専修免許取得希望者に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2362	初等英語特論	1	1.0	1・2	秋AB	応談		名畑目 真吾	小学校での外国語科に関連した専門的知識の獲得を目指す。年少者の外国語習得に関する書籍や文献を講読し、年少者の外国語習得の特徴やその指導法について理解・議論する。また、先行研究によって得られた知見をもとに国内の小学校英語教育の実践についても理解を深める。	専修免許状対応科目ではない

専門科目(スクールリーダーコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2151	学校安全と危機管理	2	2.0	1・2	春季休業中	集中		堀井 啓幸	学校における安全・危機管理の基本的事項や原理・原則を理解するとともに、子どもを取り巻く今日的な状況を踏まえた学校安全と危機管理の実践の在り方について考察することができることを目標とする。具体的には、今日、学校や教師が多様求められる学校安全と危機管理について、その背景やリスク・マネジメント、クライシス・マネジメントの基本的事項を理解する。その上で、事例検討を通して学校安全と危機管理の在り方を受講生とともに考察したい。	24年度までのスクールリーダーシップ開発専攻入学者は科目群「専攻共通科目(選択科目)」として履修登録すること。 OATAB12と同一。 世話人:濱田博文
01B2411	学校経営と教育法	1	2.0	1・2	通年	応談		藤井 穂高	学校教育に関する裁判の判決を素材とし、その論理構成を吟味するとともに、学校経営上の課題を検討する。	
01B2441	カリキュラム・マネジメント	1	2.0	1・2	通年	応談			カリキュラム・マネジメントについて、従来の教育課程編成や教育課程経営との違いを理解できるようになることを目的とする。	
01B2451	スクールリーダー実践研究	2	3.0	2	通年	応談		スクールリーダーシップ開発専攻全教員	勤務校や研究協力校の学校経営実践に関して、その特色、成果、課題、今後の経営戦略とスクールリーダーの役割等について、受講生全員で検討する。その積み重ねによって実践を分析・考察する力量を高めるとともに、実践的な経営力の形成を目指す。各受講生は実践研究報告書を作成する。	14条対応
01B2461	スクールリーダー特別研究	2	3.0	2	通年	応談		スクールリーダーシップ開発専攻全教員	学校経営実践に関して、その特色、成果、課題、今後の経営戦略とスクールリーダーの役割等について、受講生全員で検討する。その積み重ねによって実践を分析・考察する力量を高めるとともに、スクールリーダーとしての基礎的資質の形成を目指す。各受講生は修士論文を作成する。	14条対応
01B2471	学校経営事例研究	4	2.0	1・2	春AB	応談		佐藤 博志	日本と外国における教育の理論、学校経営の理論と技法、優れた実践事例を検討し、学校改革の在り方を考察する。学校経営を中心としながらも、教育改革、学級経営、授業実践、教師の専門性、今後の社会情勢(第4次産業革命、グローバル化、共生・探究社会)も視野に入れて、現代の学校と教育をめぐる諸課題にアプローチする。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学のみ。

専門科目(学習・生活支援コーディネーターコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2501	学習指導と授業	1	2.0	1・2	春AB	月5,6	8B204	樋口 直宏	授業中の教師や児童・生徒の行動や思考を観察、分析することによって、すぐれた授業および指導方法の特徴について考察することを目的とする。これらを通して、授業を科学的に把握するための基礎的能力を育成したい。 本科目では、授業を構成する諸要素について、先行研究を参考にしながらその概念を検討する。また、授業分析の歴史をはじめ、今日における授業分析法、刺激回想法、参与観察法等の諸方法を習得する。必要に応じて、小・中・高等学校等に赴いて観察や記録を行う機会を設けるとともに、これまでのVTRや授業記録も活用する。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学のみ。 OATAB14と同一。
01B2521	カリキュラム開発	4	2.0	1・2	通年	応談3,4			次の2点を扱う。(1)教育課程の編成とカリキュラム開発との違い。(2)特色ある今日的な諸実践の検討。受講者の発表と討議を中心に実施する。テキストは別途紹介する。	
01B2531	学習と学級の心理	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	8B210	茂呂 雄二	学習のプロセスを最新の学習科学に基づいて理解し、自らの授業実践にいかすことができるようにすることを目標とする。そのために、最新の学習科学の成果である状況的認知論から教室での学習について考える。単なる座学ではなく、様々な事例や課題を少人数で議論しながら、状況的認知の理解を進めて行く。	教室:8B210 OATAB15と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01B2541	学校臨床心理	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	8B210	沢宮 容子	主に児童期後半から青年期にかけて好発する心理・社会的不適応の諸問題に関し、学校という場における臨床心理学的な対応の仕方を、内外の文献の精読を通じて、学習する。具体的には、不登校、いじめ、非行、学校ストレス、抑うつ、不安障害などの不適応と、それらに対する心理教育プログラム等について学ぶ。	小学校専修免許対応はR2年度以降の入学生のみ。 OATAB16と同一。
01B2551	学習・生活支援コーディネータ実践研究	2	3.0	2	通年	応談		スクールリーダーシップ開発専攻全教員	勤務校や研究協力校などにおける子どもの学習・生活支援について、現状・課題・展望などを受講生全員で検討し、実践的なプログラム開発を行う。この作業を通して、新しい総合的専門職型リーダーとしての力量形成を目指す。各受講生は実践研究報告書を作成する。	14条対応
01B2561	学習・生活支援特別研究	2	3.0	2	通年	応談		スクールリーダーシップ開発専攻全教員	子どもの学習・生活支援のありかたについて、各受講者がテーマを設定し、論文化に向けた研究を行う。この作業を通して、新しい総合的専門職型リーダーとしての基礎的資質の形成を目指す。各受講生は修士論文を作成する。	14条対応